

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年2月3日(2011.2.3)

【公開番号】特開2009-164834(P2009-164834A)

【公開日】平成21年7月23日(2009.7.23)

【年通号数】公開・登録公報2009-029

【出願番号】特願2007-341118(P2007-341118)

【国際特許分類】

H 04 N 1/387 (2006.01)

【F I】

H 04 N 1/387

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月10日(2010.12.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の画像を入力する入力手段と、

前記画像それぞれに付加された付加情報を取得する取得手段と、

前記付加情報に応じて、その付加情報が付加された画像のレイアウトを制御する制御情報を設定する設定手段と、

前記複数の画像それぞれを、その画像の前記制御情報に応じた画像サイズで配置した出力画像を生成する生成手段とを有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

前記生成手段は、複数の画像のレイアウトを示すテンプレートに従い、前記入力した複数の画像を配置した出力画像を生成することを特徴とする請求項1に記載された画像処理装置。

【請求項3】

前記設定手段は、被写体を強調して撮影された画像か否かを前記付加情報に基づき判定する手段、および、前記被写体を強調して撮影された画像と判定された画像に、前記制御情報として、前記テンプレートに配置された画像レイアウト位置を示すフレームのサイズを拡大する変倍率を設定する手段を有することを特徴とする請求項2に記載された画像処理装置。

【請求項4】

前記被写体を強調して撮影された画像として、被写体を接写した画像、広角レンズを用いて被写体全体に焦点を合わせた画像、望遠レンズを用いて絞り開放状態で被写体を撮影した被写界深度が浅い画像が含まれることを特徴とする請求項3に記載された画像処理装置。

【請求項5】

前記生成手段は、前記制御情報および前記テンプレートに配置された画像レイアウト位置を示すフレームのサイズを示す情報に従い、前記複数の画像それぞれを配置するフレームを決定することを特徴とする請求項2に記載された画像処理装置。

【請求項6】

前記設定手段は、被写体を強調して撮影された画像か否かを前記付加情報に基づき判定する手段、画像補正により画質が向上すると予測される画像か否かを判定する手段、カス

タム現像パラメータによりRAW現像処理される画像か否かを判定する手段、および、これら判定の結果に応じて、前記制御情報として、大きなサイズのフレームに配置すべき度合いを示すポイントを設定する手段を有することを特徴とする請求項5に記載された画像処理装置。

【請求項7】

入力手段、取得手段、設定手段、生成手段を有する画像処理装置の画像処理方法であつて、

前記入力手段が、複数の画像を入力し、

前記取得手段が、前記画像それぞれに付加された付加情報を取得し、

前記設定手段が、前記付加情報に応じて、その付加情報が付加された画像のレイアウトを制御する制御情報を設定し、

前記生成手段が、前記複数の画像それぞれを、その画像の前記制御情報に応じた画像サイズで配置した出力画像を生成することを特徴とする画像処理方法。

【請求項8】

コンピュータを請求項1から請求項6の何れか一項に記載された画像処理装置の各手段として機能させることを特徴とするプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像処理装置およびその方法